

循環配管内のバイオフィーム除去と殺菌

過酸化水素系洗浄剤

ゼットクリーン300

冷却塔や温浴施設の循環配管内は、生物膜（バイオフィーム）が生成されやすく、これはレジオネラ属菌の温床となります。その為循環配管内のバイオフィームを除去し、消毒する事が重要です。

※生物膜（バイオフィーム）はレジオネラ属菌等細菌類・微生物にとって豊富な栄養源となります。
又、バイオフィーム内部に生息しているレジオネラ属菌等は消毒剤や紫外線等から保護され、繁殖を続け増殖し浴槽水内に出現します。

厚生労働省指針 健衛発第95号 より

(2) 循環配管の維持管理

循環配管の内壁には、ねばねばした生物膜（バイオフィーム）が生成され易く、レジオネラ属菌の温床となります。そのため、年に1回程度は、循環配管内のバイオフィームを除去し、消毒することが必要です。繁殖したバイオフィームの除去には、以下のような処理が考えられますが、危険が伴うことや、洗浄廃液の処理などに専門的な知識が必要な場合もあります。

過酸化水素消毒：過酸化水素（2～3%で使用）は、有機物と反応して発泡し、物理的にバイオフィームを剥離、除去します。また、同時に強い殺菌作用があります。

特長

- 剥離・除去：生物膜（バイオフィーム）の強力な剥離・除去効果があります。
- 殺菌効果：生物膜（バイオフィーム）除去後は系内を殺菌します。
- 安全性：塩素剤と比べ、機器配管等への腐食が少なくトリハロメタンの発生やクロラミンによる異臭がありません。
- 洗浄時間：短時間で洗浄完了できます。更に反応促進剤「ハイゼット」使用で洗浄力のアップと時間短縮可能です。

洗浄手順

1. 循環出来る程度まで、水量を減らします。（1/2～1/3）
2. あらかじめ反応促進剤「ハイゼット」を水で溶かし、タワー又は浴槽に入れ 10 分程度循環します。
その後、水量の 7～10%（過酸化水素濃度 2-3%）の「ゼットクリーン」を投入し、2～3 時間循環します。
※ 循環式浴槽のレジオネラ対策で使用する場合、反応促進剤「ハイゼット」使用により色素が沈着する事がありますので、ヒノキ風呂、大理石風呂、白いタイル目地、素焼きタイル等色素沈着の考えられる材質の浴槽では「ハイゼット」の使用を控えて下さい。特にヒノキ風呂の場合は、絶対に使用しないで下さい。
3. 洗浄中に配管内やろ過装置内で発泡し、循環効率が悪くなる場合があります。適時エア抜きを行って下さい。
4. 洗浄後はゼットクリーン分解酵素「アスクスーパー」を投入し無害化した後排水し、浴槽・配管内を1～2回水を入れ替えながら良くすすぎを行ないます。

取扱上の注意

- 保管の際には、直射日光を避け、冷暗所に保管して下さい。
- ご使用の際には、ゴム手袋、保護メガネ等を着用し皮膚に薬液がかからないよう保護して下さい。特に目に入らないようにして下さい。
- 万一、皮膚に触れた場合には、直ちに水で洗って下さい。
- 安全データシート（MSDS）を参照の上ご使用下さい。
- 医薬用外劇物（主成分：過酸化水素 30%）

循環式浴槽配管洗淨例



水が循環できる程度まで(1/2~1/3)水量を減らします。反応促進剤「ハイゼット」を溶かし投入後循環します。



ゼットクリーン分解酵素「アスクスーパー」を投入し、薬液を完全に反応・分解後に排水します。



「ハイゼット」が行き渡ったのを確認し、全体水量に対して7%~10%量の「ゼットクリーン」を投入します。



汚れや残留薬剤をすすぐ為、水を入れ替えて1~2回すぎ洗淨します。



2~3時間循環洗淨します。(オーバーフロー環水式の場合:オーバーフロー側にも薬剤が回るようにして下さい。)



空容器は、水洗いしてから処分します。



【アスクスーパーの使用方法】

ゼットクリーン300の使用量に対して約0.2%程度のアスクスーパーを投入して下さい。
 尚、投入する際には、少量を2~3回に分けて投入するようにして下さい。
 約1時間で分解処理されます。

〔 使用ゼットクリーン 1缶(20キログラム)に対し
 アスクスーパー使用量 100ml~200ml. 〕

残留ゼットクリーン300の未反応による過酸化水素濃度が高い場合やアスクスーパーの投入量が多い場合、アスクスーパーを一度に投入した場合は発泡が激しくなり、循環ポンプが空転することがありますので、必ず発泡の状態を見ながらアスクスーパー少量を数回に分けて投入するようにして下さい。

荷姿:20kg ポリ缶 反応促進剤ハイゼット付

製造元  株式会社 **サンコード**
 〒101-0032 東京都千代田区岩本町 3-8-15
 TEL: 03(3865)7391 / FAX: 03(3865)7392